

校長研修だより54

職員室の先生方へのお願い②

～「学ぶ」は「真似る」から～

2022・5・11 重枝 一郎

「学ぶ」の語源は、ご存知の通り、まねる→まねぶ→まなぶ と言われる。前号でもお願いしたが、全体・同学年・同教科でのOJTを活性化してほしい。今、各学年のベテランの先生方が若い先生をしっかりとサポートしている姿をよく見る。ありがとう。

経験の量に関わらず、いつも「今がチャンス」というマインドで、有意義な自身の教職生活につなげていく。時には一から自分の授業や学級づくりを見つめ直すことも大切である。下に、前号のOJTのポイントを示す。

授業参観依頼の約束事の確認

- ① 最低一週間前に、参観のお願いをしておくこと
- ② 参観の視点を伝えておくこと
例えば、礼から始まり、聞く態度、話す態度等の授業規律、指示の仕方、教材研究等
- ③ 授業後に参考になったことを整理し、感謝の意と共に伝えること
※ 謙虚で素直な学ぶ姿勢をもち続けていこう。

授業参観の視点

- ① 授業規律 (聴く態度、話す態度、発表の仕方、忘れ物対策他)
- ② 目標・ねらいのつくり方 (単元・本時での立て方、板書の活かし方 など)
- ③ 学習評価 (評価規準・基準、補助簿、学習プリント など)
- ④ 自己評価 (項目内容、活かし方、時間のかけ方 など)
- ⑤ グループ学習 (グループのつくり方、役割分担、話し合い、発表 など)

PDCA サイクルを意識して

目標に向かって、計画し(P)やってみて(D)振り返り(C)、次への行動へと活かす(A)サイクルを意識し実践を向上させていくことは、自然と生徒の学びの姿勢につながるものである。

まずは、この時期は、教科の**授業規律の確立**に狙いを絞って、プランを立てよう。

実は**授業規律だけをとっても多岐に及ぶ**。授業の挨拶に始まり、グループ作り、話を聞く姿勢、意見発表の仕方、話し合いのルール、仲間との意見交流の際の約束事、授業終わりの感想・自己評価のまとめ方など、一つずつ学びながら積み重ねて自分の授業を作っていくことが肝心である。

このような学ぶ姿勢は、生徒の「まねる」につながっていく。教科の内容は当然ながら、私たち教師は、生徒たちに**学び続けることの楽しさや大切さ**を教えることが仕事だと思う。

これから生徒たちがどう変わっていくか、先生方の授業を楽しみにしたい。

※裏面に指導案(略案)を紹介する。